

令和7年度 義務教育学校 ニュース 7

R7.12

義務教育学校に係るニュースについてお知らせします。

芥見東小・藍川東中学校 (R8.4月 藍東学園として開校予定)

義務教育学校「藍東学園」の 進捗状況について

- (1) 北舎改修工事
- (2) 藍東学園保護者説明会(R7.10.7)
- (3) 小中地域合同運動会(R7.10.25)

北舎改修工事

北舎の改修工事が10月上旬に完了しました。



北舎 外観



各階 廊下



1階 技術



2階 東 理科



2階 西 理科



3・4階 国語 算数・数学など

3階と4階には、国語、英語、社会、算数・数学など7つの教科専門の部屋（ラボ）があり、その全てに写真のように大きなホワイトボードを前と後ろに2面設置しました。現在は南舎の改修工事を行っているため、芥見東小の児童が、北舎を通常の教室として使用していますが、来年4月から、藍東学園の教科センター方式で、教科の授業を行う教科専門の教室（ラボ）として、スタートします。

藍東学園保護者説明会

令和7年10月7日(火)、芥見東小、藍川東中での保護者授業参観後、

15時35分から、藍川東中体育館で小中合同保護者説明会が行われ、

125名の保護者が参加されました。

芥見東小、藍川東中の校長による説明の後、質疑応答が行われました。概要は以下のとおりです。



【生活について】

Q: 1年生から9年生で給食を食べる際、量などが違ってきますが対応できるのですか。

A: 現在も、子どもたちが、食べられる量を考えて調整しています。異年齢集団になっても同様の対応をまいります。
なお、パンなど、学年で大きさが違うものは、盛り付け時に対応します。

Q: インフルエンザ等が流行した場合、学級閉鎖の対応はどうなりますか。中3は受験があるので、後期だけでも中3だけにすることはできないでしょうか。

A: 様々なケースがあるので、その都度、校医の助言を仰ぎ、適切に対応してまいります。

【授業・テストについて】

Q: 授業時間は、小学生も中学生も45分になるのですか。

A: 通常は45分授業とします。中学生の授業時間が5分短縮されることについては、ファミリー(異年齢による集団)でのマイプラン学習の時間を設けますので、中学生はそこで得意を伸ばし、苦手を克服する学習を多くとることで、カバーしていきます。

Q: 中1になると、生活が中間・期末テスト中心となり、やりたいことができてないと思います。テストと授業評価についてはどう考えているのでしょうか。

A: 定期テストについて、来年度からの大幅な変更はしません。
テストの在り方については、よりよい実施方法などを今後も検討はしていきたいと考えています。
まずは、普段の授業を大切に、子ども自身が学習したこと、定着を図ると共に、自ら学び直しに取り組めるようになり、力を付けていくことを目指していきます。それを確実に評価していきたいと考えています。

【ファミリー・異年齢学級の取組について】

Q: 自分の気持ちをうまく表現できない子は、今のクラス担任のほうがサポートしてもらっているの、親として安心です。先生たちは、ファミリーで子どもたちの気持ちの変化をどう見ていくつもりでしょうか。

A: ファミリーでは、異年齢であることを生かし、子どもたち誰もが幸せになっているのかをお互いに気遣えるようになることを目指します。

一方、気持ちをうまく表現できない子どもたちについても、1つの学校になることで、教頭、養護教諭を2名ずつ配置できますので、ファミリー担任だけではなく、教科担任を含め、より多くの教職員で見守ることが出来ます。

このように今以上に子どもたちを厚くフォローし、相談し易い環境を構築していきます。

Q: 岐阜県内では、こういった取組は初なのでしょうか。ビジョンがまだ見えないので、前例があれば知りたい。

A: 異年齢による教育活動の展開は、広まりつつあります。

異年齢を重視するのは、子どもたちはいずれ社会へ飛び立ちますが、社会は、多様な人たちと共存しながら、価値を発揮していく世界になっていきます。学校は、子どもたちが、こうした社会に出る準備をする重要な場所であり、異年齢を毎日の生活の中に取り入れることで、藍東学園が、「子どもたちが将来を見据え、自ら幸せな未来をつくり出せる力を育む場所」となることを目指したいと考えています。

【中3(9年生)の進路決定について】

Q: 来年度中3の保護者ですが、中3しか味わえない緊張感、臨戦態勢など、これまではクラス一丸となって、担任の先生がモチベーションをアップしてくれた。ファミリーになると、そのモチベーションが維持できるのでしょうか。

A: 義務教育学校でも、これまで同様、進路指導主事を設置します。これまで以上に進路指導を充実させたいと考えています。

1日の多くの時間を過ごす教科の教室(ラボ)は、同年齢のクラスとなり、そこでは、9年生の教科担任が、これまでと同様に進路決定への意識付け、フォローやサポートをします。

また、子どもたちが、これまで以上に学習に取り組み易く、そして、質問や相談をし易い環境を同年齢のクラスでも、異年齢のファミリーでも目指してまいります。

Q: 中3は、ファミリーでは、小さい子の面倒を見て、リーダーシップをとらなければならない。子どもたちにとって進路決定は、人生の中で大きな岐路でもとても大切だが、受験生に対してのビジョンはどのように考えていますか。

A: ファミリーでは、最年長の9年生が低学年の面倒を見るという構図はありますが、一緒に生活していくと低学年の子も、9年生が今は大切な時期であると感じてきます。また、8年生も自分たちがやっていくんだという心が芽生えます。

こうしたことを育み、9年生が進路決定などに集中できるよう、教職員が一丸となって環境を整え、必要な配慮をまいります。

小中地域合同運動会

令和7年10月25日（土）に芥見東小学校で、小中地域合同運動会が行われました。小、中、地域の合同運動会は初めてとのことでしたが、幼児や高校生も大勢訪れており、子どもから高齢の方まで、様々な年代の方が参加するにぎやかで活気あふれる会でした。



中学生のリレーでは、小学生、中学生、先生、地域の方、みんなで応援して、ゴールの瞬間は大きな拍手が起きていました。小学校5・6年生のソーラン節を見て、テントで低学年の子が真似をして踊り始めていました。また同時に、中学生の先輩もテント前で一緒に踊っていました。それを多くの地域の方が見守っていて、とてもほほえましい光景でした。



運動会の閉会式後には、藍川東中生による藍東学園の制服、新しいジャージのお披露目会も行われました。